

氏名	井田 歩美
授与した学位	博士
専攻分野の名称	博士（看護学）
学位授与番号	博甲第5177号
学位授与の日付	平成27年 3月25日
学位授与の要件	保健学研究科 保健学専攻 (学位規則第5条第1項該当)
学位論文の題目	新生児をもつ母親の育児上の不安や疑問 ーソーシャルメディアにおける発言のテキストマイニングによる分析ー
論文審査委員	秋元 典子 教授、中塚 幹也 教授、大井 伸子 准教授

### 学位論文内容の要旨

本研究の目的は、ソーシャルメディア上における母親の発言内容を分析することで、新生児をもつ母親の育児上の不安、疑問を概観し、今後の育児支援のあり方を検討することである。研究対象は、株式会社ベネッセコーポレーションの管理する口コミサイトにおいて新生児の母親の発言と断定できた2,017件をとした。分析には、Text Mining Studio4.2を使用し、母親の発言内容から単語出現頻度をカウントし、母親が必要とする育児情報や疑問、不安の様相を分析した。結果、発言は児が生後14～21日未満の時期が25.0%と最も多く、母乳育児の確立に向けた『授乳』に関連する不安や疑問が多かった。一方で、母親は、不安や疑問に対しての的確な解決策を求めているのではなく、同じ体験をした他の母親の体験談や今後の経過を聞くことで予測をたてるなど、自分なりの育児方法を模索していることが示唆された。(388字)

母性衛生56(1)2015年4月発行予定

キーワード：新生児，母親，不安・疑問，ソーシャルメディア，テキストマイニング

### 論文審査結果の要旨

オンライン上で、ユーザー同士が情報を交換(送受信)することによって成り立っているソーシャルメディアにより得られるビッグデータを、テキストマイニングという手法を用いて解析した研究であり、この時代ゆえに可能となった研究である。

分析結果として、新生児をもつ母親の育児上の不安や疑問は「授乳」に関連するものが多く、しかし、母親は疑問への回答ではなく、体験者同士の話を聴くことで「承認」を求めている事が明らかにされている。この結果は、他者の意見に左右され育児不安の増強が起こる可能性があることをも意味していると考察されており、これらを踏まえたうえでの母親支援が必要であるという示唆につながる意義ある結果と考える。

反面、原著論文とはいえ、研究の新規性を確認する先行研究レビューの不足、本研究の限界の記述の欠落、看護実践への示唆に関する記述の欠落、質的データの分析結果の評価基準の間違いなど、多くの課題が残されている。しかし、今後のさらなる研究者自身の努力によってこれらは克服できると考え、岡山大学大学院保健学研究科博士主論文として適当と判断した。